

婦人科がんのお話

～腫瘍専門医が教える、いま知っておきたいこと～

三大婦人科がんである子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんにはそれぞれ特徴があります。

子宮頸がんは現在ワクチンによる予防効果が証明されている唯一のがんであり、また子宮頸がん検診は非常に有用かつ痛みを伴わないスクリーニング法です。子宮体がんは初期段階から不正性器出血を来することが多く、自覚症状がある場合は必ず婦人科外来を受診することが重要です。卵巣がんは検診による早期発見が困難であり、お腹の張りや痛み、食欲低下などによって受診し卵巣がんと診断される方の多くは進行がんです。また治療後の再発も多く、新しい治療法の開発が最も望まれる婦人科がんと言えます。

今回は、これらの婦人科がんに関して注意すべき症状や具体的な検査方法、さらには私の研究テーマでもある腫瘍免疫学の考え方についてもわかりやすくお話したいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2019年11月11日(月) 場所：山王病院本館3階 山王ホール
時間：14：00～15：30（開場13：30） 1時間前後の講演と質疑応答を含みます



松橋 智彦

女性腫瘍センター・婦人科医長
国際医療福祉大学 臨床医学研究センター講師

専門分野：婦人科（婦人科腫瘍、婦人科内視鏡手術）

日本医科大学卒 同大学大学院修了 医学博士

元日本医科大学付属病院／日本医科大学千葉北総病院 産婦人科助教／医長、元神奈川県立がんセンター婦人科医長

日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会認定婦人科腫瘍専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医・指導医、緩和ケア研修修了

悪性腫瘍や内視鏡手術など、各分野の基幹病院で臨床の最前線で診療を行ってきました。大学院においては腫瘍免疫学を学び、がん細胞の制御メカニズムにも精通しています。最新の知識と日々研鑽を重ねてきた技術を基に、婦人科疾患に立ち向かう皆様一人ひとりと人間同士で向き合い、最適かつ最良の治療を提供しています。

定員70名（定員になり次第、締め切ります） ※参加費無料（定員までは当日参加も可能です）

※参加ご希望の方は、以下の事項を記載の上、FAX、メールのいずれかでお申込みください。

・FAX: 03-3404-3652（さんのう健康講座事務局宛て） ・mail : sanno-kenko@iuhw.ac.jp

※太枠内は必須項目です。

(フリガナ) お名前			参加人数	1名（+同伴者 名）
お電話		E-mail		
ご住所	〒			

医療法人財団 順和会 山王病院 107-0052 東京都港区赤坂8-10-16 TEL:03-3402-3151

診療受付時間： 8:30～11:30 13:00～16:30 ※各診療科・曜日によって異なる場合がございます。

診 療 曜 日： 月～土曜日

ア ク セ ス： 青山一丁目駅 4番出口より徒歩約4分（東京メトロ銀座線・半蔵門線／都営大江戸線）
乃木坂駅 3番出口より徒歩約4分（東京メトロ千代田線）